

2019年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 国際社会科学科 3年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 ニューサウスウェールズ大学
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年2月10日～2019年8月31日 出国日 2019年2月3日 最終帰国日 2019年8月29日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学を通じて、語学力向上と人との繋がりを増やしました。語学力が上達した理由の一つは、ディベート部に参加したことや経済学会のディスカッションに参加していたことです。活動を通じて私の意見を英語で説明したり議論したことで語学力が向上し、また、専門知識や論理的思考力も身につけることができました。しかし、英語のレベルが高すぎたり、私自身の知識不足があったりと活動についていくのが手一杯でした。知識を身につけることに執着しすぎて、活動自体を楽しんでいたかと言われるとそうでもありませんでした。留学後半ではスポーツをしたり寮の生徒と会話し共に遊ぶことを積極的に行いました。その結果、寮での友達が増えて、不安や悩みを相談できる友人も作ることができました。留学前は、知識を身につけたり語学力を向上させることを意識していましたが、大切なのは身近な人たちと親密な関係を築くことでした。寮の友達と仲良くなってからは、毎日が楽しくて専門知識などを気にせず気楽に会話することができました。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

もっと準備をしておけばよかったと感じることは特にはありません。強いて言えば、留学先で何を履修するかはよく考えておけば良かったと感じます。私の場合、自分が興味ある科目を中心に履修していたため、単位認定のことをあまり考えていませんでした。そのため、科目によっては単位認定が厳しかったり学習院大学には無い科目であったりするので科目選びは慎重に行うべきだと感じました。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

留学先大学は今年から二学期制から三学期制に変更したようで、それによって昨年度に留学した先輩方とは授業形態が少し異なっていました。また、授業自体がまだこの変更で調節されていない状況だったのでバタバタした感じでした。今まで半年で教えていた内容を約3ヶ月で教えている感じで、授業のスピードも早く、テストも二～三週間に一回というペースでした。留学生はもちろんのこと、現地の学生も授業に追いつくのに精一杯でした。しかし、オンライン（ Moodle ）で授業の資料をダウンロードしたり授業の録画を鑑賞、教授に直接質問することができました。授業よりも予習や復習をメインに進めるという感じでした。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

キャンパスはとても広く、カフェやレストランやスーパーまでありました。生活用品までもが全てキャンパス内で買えたので、あまりキャンパス外に行くことがありませんでした。キャンパスには学部棟があり、それぞれに自習スペースが備わっていました。また、九階くらいある図書館にも各階に自習スペースがあったので、自習する場所で困ることはありませんでした。広い芝生のスペースもあり、晴れている日にはお昼を食べる人や日光浴をする人で賑わっていました。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

語学補習講座のようなものはありませんでしたが、各学部の補習講座はありました。それは週に一回の二時間程度の講座で、先輩の学生が課題やテスト対策などを行っていました。また、この活動は生徒がボランティア活動の一環として行っていたので費用はかかりませんでした。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

留学生向けのイベントは見えていなかったのですが、一般生徒向けのイベントや寮のイベントが充実していたので、それらに参加していました。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

特にありません。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学周辺の治安はとっても良いと感じました。特にスリや盗難などは無く、平和に生活していました。ただ、私が夜にあまり外出することがなかったので、被害に遭わずに済んだのかもしれません。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Accounting and Financial Management 1A	
Accounting and Financial Management 1B	
Business Finance	
Portfolio Management	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 2555 豪ドル、(日本円) 約 18 万円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

キャンパス内の寮だったので通学がとてもしやすかった。また、大学の寮にしたことで寮内のイベントに参加したりして、友達を増やすことができました。寮の食事の質はあまり良いとは言えませんが、自炊する負担が減るという面では良いです。また、寮の食事の場合、寮内の生徒と話しながら食べられるため、コミュニケーション能力も伸びます。大学の寮を選んで一番良かったと思ったのは、帰国の日の最後の最後まで寮の生徒と一緒にいてくれたことと、困っていた時にすぐに助けてくれたり相談を聞いてくれたことです。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 21600 豪ドル、(日本円) 約 150 万円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 6~7 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 400 ドル、(日本円) 約 3 万円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード
／現金／その他（ ）

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

現地では現金を使う機会がほとんどなかったです。キャッシュレスが進んでいるのか、支払い方法の大半がクレジットカードでした。なので、クレジットカードは必須だと思います。また、留学期間によっては現地の銀行口座を開く方が良いと考えられます。手続きはそこまで必要なく、手数料もビザクレジットカードを使うよりも少なく、現地の友達とご飯に行く時などに割り勘した時にお金を送金できます。ちなみに、現地で割り勘をする時には、送金で済ませているので、日本のように現金で割り勘するのは難しいです。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

教材 330 ドル (24000 円)
食費 300 ドル (22000 円)
通信費 160 ドル (12000 円)
交通費 235 ドル (17000 円)
ランドリー 100 ドル (7000 円)

5. 保険について

(1) 保険会社名

Medibank、学生教育研究災害傷害保険（学研災）

(2) 保険料

計約2万～3万円

(3) 加入した保険の種類、内容

学研災：D18 プラン

(4) 感想、良かった点・悪かった点

Medibank の OSHC 保険はオーストラリアの国民保険なので必ず入らないといけませんでした。良かった点としては、どちらの保険も手続きがとても円滑でした。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

洗顔剤（日本人に合うのは日本にしか無いです）、文房具（日本の文房具は現地の学生にも高評価されるくらい高品質です）、衣類（現地でも買えますが物価が高いです）

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

インスタント食品類（寮で食事が出る場合のみ）

(4) 持って行けば良かったと思う物

スーツ（フォーマルなイベントに参加するのに必要です）

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

平日は授業と課題、予習、復習がほとんどです。授業のスピードが早いので追いつくためにも復習には時間を費やさなければいけません。それ以外には、大学のジムに週5日通い、部活動にも参加していました。また、週に一回、寮全体のミーティングと各フロアのミーティングがあり、一週間の出来事などを話しました。

(2) 週末

週末も平日と変わらず、課題や予習・復習、ジムに行っていました。また、寮内には娯楽施設が付いており、ビデオゲームや卓球、ビリヤードを友達としていました。また、時間が合えば友達とシティへ行ってご飯を食べました。

8. 後輩へのアドバイス等

1. 宿舎の確保は早めに済ませること

- i. 特に半年の留学を考えている方は、大学の寮が1年契約のものしかないので早めに大学側に相談する必要があります。私は宿舎をなかなか見つけれず、実際に契約できたのは渡航2～3週間前とかなりギリギリになってしまいました。

2. 現地の学生に積極的に話しかけること

- i. これは人によっては相当難しいことだと思います。特に留学初めてで英語に慣れてない頃はどう話しかければ良いとかグループに入るのかとか分からないです。しかし、分からなくても大丈夫です、むしろそんな学生たくさんいます。「Hallo」とは「How are you?」とか簡単なことでも良いので話しかけてみてください。そうすると、相手から認識してもらえようになり、仲良くなる機会が増えます。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。